

アフター・コロナの新たな出発に向けて

長岡市身体障害者団体連合会 会長 藤田芳雄

今月実施された「5類移行」を機に、3年以上にも及ぶ、長い長い新型コロナとの戦いに、一応のピリオドが付きました。

これを機に私たち長岡市身体障害者団体連合会でも、これまで自粛していた様々な行事、事業を以前の体制に戻し、ほぼすべての計画どおりに実施することになりました。

県身連の福祉大会や研修会などをはじめ、ミュージックふれあい交流会「身障連納涼まつり」なども従来どおり、いや、それ以上の企画をし、以前の活気を取り戻したいと考えています。

とりわけ県身連主催の「囲碁、将棋大会」ではこれらに加え「健康マージャン」や視覚障害者を対象とした「ブラインド囲碁」なども新設して、仮称「ふれあい名人戦」としました。

さらに、これまで長岡市や柏崎市など各地持ち回りで実施してきた「スポーツ大会」は、会員の

高齢化や減少などに合わせ、ゲームや交流を目的とした「スポーツ交流会」として再出発することになっています。

以上のように、本連合会でも新たな時代、新たなニーズに合わせた組織運営を摸索しながら新年度に臨んでいます。

先日、テレビの特集番組で「IT社会と人権」というテーマで、とりわけ障害者の置かれた環境について解説していました。特に視覚障害者に関しては、ニューノーマルの普及（新常識）が広がる中、セルフレジの普及や端末であるスマホなどの情報機器の一般化、ソーシャルディスタンスなど、新型コロナ感染による非接触の暮らしの浸透が進み、障害者が取り残されている現実を紹介していました。

これを「時代だから仕方がない」と受け止めるのか。これに対し、放送では行政による積極的な取組が必要とし、学校への出前授業や障害者への積極的な声掛け、そしてあらゆる場における音声ガイダンスの普及を提言しています。

そして放送では、最後に当事者団体によるどん

な場面で不自由を感じているのかの調査の必要性についても触れており、当事者である障害者自身の積極的な関わりや情報発信、当事者の意識の高まりも欲しいとしていました。

私はこの「仕方がない」「しょうがない」というのが最も嫌いな言葉で、この考えには大いに同感するところ です。

これを身障連におき換えると、傘下の協会でも高齢化や会員減少に悩んで久しく、これに対して従来どおりの「親睦」や「相互の情報交換」だけでよいのだろうかと摸索しています。

新年度にあたり、さらに私たち会員一人ひとりに権利意識が芽生え、学びなおし、新たな発想と行動をすることが求められていると感じています。

長岡身障連かわら版

【発行人】
長岡市身体障害者団体連合会
会長：藤田芳雄
令和5年春号



新年合同交流会に参加して

栃尾身体障害者福祉協会 会長 嶋田貞夫

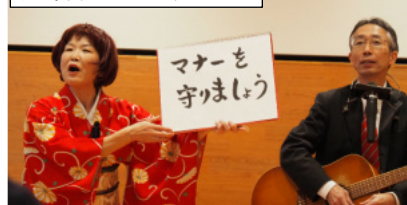
1月22日に新年合同交流会がトモシアで開催され、栃尾協会からは4名が参加しました。

藤田会長の挨拶を皮切りに各協会長の挨拶で始まり、新年を祝う催しとして、藤田会長のマジックショー、市内中之島出身の夫婦漫才つまようじさんによる漫才、最後に福引抽選会がありました。

栃尾協会参加者の感想をまとめました。

- 1.もう少し参加者が多いと良かったかな。
- 2.催し物の会長のマジックショーやつまようじさんの漫才は楽しかった。
- 3.コロナ対策緩和により飲食ができて良かった。
- 4.福引抽選会では、栃尾が1等、2等、3等をいただきましたが、景品をもう少し豪華にして

夫婦漫才つまようじさん



もよいのではないかと。(笑)

最後に準備に関わっていただいた方々に感謝申し上げます。

新任のごあいさつ

長岡市福祉保健部長 水島 幸枝

日頃から市政に多大なる御理解御協力を賜り謹んでお礼申し上げます。

この度、長岡市福祉保健部長に着任いたしました水島と申します。

長岡市身体障害者団体連合会におかれましては、市内の身体障害者団体をつなぐ重要な役割を担い、会員の福祉向上のため日々活動され、長岡市の障害者福祉の向上に寄与されていることに、心から感謝申し上げます。

今年、令和6年度からスタートする、第7期長岡市障害者基本計画・障害者福祉計画の策定に着手いたします。今後も、各種福祉施策を着実に推進し、障害のある人もない人も、ともにいきいきと暮らせるまちづくり、そして誰もが暮らしやすい「地域共生社会」の実現に向けて、皆様と一緒に取り組みを進めてまいります。引き続き、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、長岡市身体障害者団体連合会のますますの御発展を祈念申し上げ、新任のあいさつといたします。



令和5年度 身障連役員紹介

今年度は役員改選の年（任期2年）ですが、全員が引き続き継続することになりました。よろしくお祈いします。
※FはFAX番号

役職	氏名	出身協会	連絡先
会長	藤田芳雄	視障協	28-2101
副会長	近藤哲雄	肢体協	27-4823
副会長	嶋田貞夫	栃尾協	53-6619
事務局長	土田清海	肢体協	33-7150
会計部長	小林秀治	ろう協	F 24-2777
理事	江花昭夫	ろう協	F 34-6973
理事	五十嵐政男	視障協	33-6844
理事	横山昇司	肢体協	33-5792
理事	剣持辰夫	栃尾協	52-1576
理事	小林信栄	中之島協	66-6176
理事	大淵時江	川口協	社協 89-3117
監事	田辺範男	肢体協	34-4644
監事	佐藤豊徳	栃尾協	52-3030
監事	樋山哲雄	中之島協	66-5302
事務局	小西恵子	ボランティア	—

令和5年度 会計の使い道は？

普通会計の新年度予算収入はどのように入り、支出はどのように使われるのでしょうか。

収入は、会費14万7千円、市補助金4万円、共同募金助成金10万円、カタログ販売や自販機などの手数料34万円、特別会計からの繰り入れ8万円など合計68万円です。

支出は、県身連への納付7万6千円、スポーツ振興3万円、音楽交流3万円、納涼まつり6万円、新年合同交流会5万円、会議費8万円、活動助成費3万円、行動費7万円、役員手当12万円、広報・通信費・事務費等5万円など合計68万円です。

記念事業特別会計は、普通会計が不足した場合に支出するほか、今後、記念事業を開催するときに使います。

楽しく参加しやすい事業を多く開催していきたいと考えています。アイデアがありましたらご提案をお待ちしています。

また、年々会員が減少傾向にあります。皆様の周りの障害者手帳をお持ちの方にお声がけいただき、会員を増やしましょう！

令和5年度 第1回理事会

4月23日（日）に新年度第1回理事会をトモシアにおいて開催しました。

令和4年度実績報告、決算報告の後、会計監査報告が行われ、続いて、令和5年度役員改選、事業計画、予算の審議が行われました。

すべて原案どおり承認され、次の理事会までに計画されている「第五地区スポーツ交流会」

「第五地区ミュージック交流会」「平和の森公園清掃ボラ

ンティア」

「第五回納

涼まつり」

などが協議

されました。



第1回理事会

ザ・チャレンジド 【第4回】

長岡市ろうあ者福祉協会 会長 江花 昭夫さん(78歳・金房3)

欧米では障害者を「チャレンジド」と呼ぶ。

このコーナーでは障害がありながらスポーツや文化、ボランティア活動、そして社会における様々な場面で活躍する人たちの姿を浮き彫りにし、その生き方を通じて障害者のナマの姿、理解の促進につなげる。



「若い頃は段ボールを組み立てる会社で、段ボールをプレスして組み立てるオフセットの仕事をしていました。お菓子や洋服を入れる箱作りの仕事ですね。40年間の仕事では、手を切ったりというケガは日常茶飯事だったが、聞こえないという不便さもあって大変な苦勞をしてきた。」と、江花さんは当時をふり返る。

「今ではパソコンを使って簡単に仕事ができるようになったが、当時は仕事をするうえで『手話』ができる人がいて話が通じれば良かったのですが、なかなかそういう環境ではなかった。それで仕方なく『筆談』での会話となるので、なかなか大変でした。」と話す。

仕事は面白かったし、職場の人も良くしてくれたが、「聞こえない」ということで、仕事をするうえではとても不安だったと江花さんは言う。

妻とは学生時代(長岡ろう学校)からの付き合いだったが、障害があったことと、自分の家が貧しかったこともあって、いざ結婚となると相手の両親からは猛反対され、なかなか認めてもらえなかったと言う。「それでも私はあきらめずにアタックし続けました。そしてやっとのことで認めてもらい、ようやく結婚。しかし、結婚しても今度は妊娠はしてはいけない、子供は生んではだめだと言われて、なかなか子供は作れなかった。それで

もあきらめずに、自分が40歳の時に待望の男の子が産まれました。やはり頑張って産んでよかった。とても嬉しかったです。」と笑顔で話す。

これまでで嬉しかったこと、苦勞したことは何ですかと聞くと、「これまで聾啞者として様々な苦勞をしてきたが、自分はそれに負けない気持ちで頑張った。」と漏らす。今になって考えれば、それが今の自分、そして信念につながっているとも言う。

江花さんは(その人が)聞こえる、聞こえないにかかわらず、たくさんの友達にも恵まれ、手話に興味を持ってくれた人も少なくなかったと言う。

これまでで一番印象に残っているのはと聞くと、「やはり息子が産まれたこと、本当に感動でした。」と思わず笑顔を見せる。

奥様は5年前、肺の病気で亡くなられたが、江花さんの取材に立ち会ってくれた手話通訳員の方の話では「奥様とはとても仲が良くてうらやましいくらいでした。」という。

取材した筆者は全盲で、江花さんの表情までは伺い知れず、また、江花さん自身は私の話は聞こえない筈だが、お互いに気持ちが伝わって、時にほろっとさせられた良い時間だった。

(文責：藤田)

【情報ファイル】

◎ 高速道路の障害者割引拡大、3月27日からマイカー以外も対象に

高速道路各社は障害者を対象とした料金割引について、3月27日からサービスを拡大すると発表した。

これまでは事前登録した自家用車1台だけに限定していたが、レンタカーや親族、知人の車を使う場合にも適用する。重度障害者はタクシーも利用可能となる。

障害者割引は(障害者の)社会活動を後押しす

ることが目的で、通勤、通学、通院などで高速道路を使うと料金が半額となる。

見直し後はレンタカーなどでも事前に割引を申請し、障害者手帳を料金所で提示すれば適用される。これにより、移動の自由度が拡大するとしている。

また、割引の事前申請や自家用車の事前登録は、3月27日から専用サイトを通じてオンラインでも済ませられるようになる。障害の確認のため、マイナンバーカードが必要となる。



設立50周年記念事業 障害者川柳 その9

聴覚障害者との心のこもった コミュニケーションのために

本連合会では設立50周年記念事業のひとつとして、全国から「障害者川柳」を募集しました。

このコーナーでは寄せられた1,400句の応募作品の中からピックアップして、毎号ご紹介します。

障害者の日々の暮らしや思い、言いたいことなどが、五・七・五の短い言葉で、笑いとペースの中から見えてきます。

解説 室井 泉柳

健常と 言い張る君は 骨っばい

京都府 男

【解説】 国連の障害者権利条約には「(障害者は)その心身がそのままの状態尊重される権利を有すること。」とし、「社会の障壁こそが障害をもたらしており、社会が障壁を取り除かねばならないこと。」としています。つまり、障害は社会によってつくられるものであるとしています。これは「自分らしく生きようとしている」姿がうかがえる作品ですね。



込電車 つかまり降りれば 知らぬ女 (ひと)

神奈川県 男 視覚障

【解説】 視覚障害者は外出の際、付き添いや同伴の方の肘や肩につかまりながら移動することが多く、乗り込んだ電車がギュウギュウの満員電車だったりすると、それはそれは大変です。



精一杯 生きてる姿が 素敵です

働き蜂ちえちゃん 大阪府 女

【解説】 障害の有無にかかわらず、仕事であれ、趣味であれ、社会との関わりの中で、結果はともかく、自分らしく、全力で生きている姿はカッコいいですね!



⑧ お疲れ様です



【お疲れ様・ご苦労様です】

- ・手でこぶしを作って左手の手首のところをトントンと2回叩きます。

令和5年度 当面の行事日程

- 6月18日(日) 第五地区スポーツ交流会 柏崎市
- 7月11日(火) 第56回新潟県身体障害者福祉大会 地域団体研修会・総会 ふれ愛プラザ
- 7月17日(月/祝) 第五地区ミュージックふれあい交流会 刈羽村
- 7月23日(日) 第23回平和の森公園清掃ボランティア
- 8月6日(日) 第5回身障連納涼まつり 八オーレ長岡

※ いずれも各協会にお申し込みください。

【編集後記】

新年度に入り新型コロナも落ち着きを見せ、一定の対応は必要ですが、コロナ前のようにいろいろな行事が開催できそうです。

会員の皆様が顔を合わせて、おしゃべりもできて、活動の楽しい様子が目に浮かびます。

多くのご参加をお願いします。(K・T)

【事務局連絡先】

※ 投稿及び連絡は下記メールをお願いします。

メール: nagaokasinsyou@yahoo.co.jp
QRコードからもOK!



ホームページ:

<http://shinsyoren.web.fc2.com/>
QRコードからもOK!

